

カレンダー ※月曜休館 は休館日（変更する場合があります）

3月							4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3							1
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29
														30	31					

◆◆◆祥雲閣のご案内◆◆◆

和の空間で四季折々の庭園を眺めながら 500 円で抹茶とお菓子を気軽に味わえます。（10 時～16 時まで）



◆所在地 大崎市古川福沼一丁目2番2号

◆電話 0229-24-3385

◆交通 JR 古川駅から徒歩約 20 分

車 東北自動車道古川 IC より約 10 分

◆駐車場 有

◆休館日 月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）

◆入館料 無料



大崎市祥雲閣
 令和3年 2月25日発行
 〒989-6105
 宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号
 TEL・FAX 0229-24-3385

祥しやう雲うん閣かく たより vol.22

季節の行事

「ひなまつり」



3月3日はひなまつり。ひな人形を飾って女の子の健康と幸せを願う伝統行事です。厳しい寒さにじっと耐えてきた桃の花が咲く時期と言うこともあり、「桃の節句」とも呼ばれます。

寒い日が3日ほど続いた後に、暖かい日が4日ほど続く「三寒四温」を繰り返しながら、少しずつ春に近づいていきます。私たちも困難な状況が続きますが、笑顔を忘れずにいたいものです。

ひな祭りの由来

ひな祭りは平安時代に行われた「上巳の祓え」と「雛遊び」が結びついたものと言われています。上巳の祓えは旧暦3月の最初の巳の日に紙で作った人形に災いを移して厄を払う風習です。雛遊びは人形を使った遊びの事で、災いを移した人形を川に流して身を清める二つの風習が融合し、日本各地で「流し雛」の厄払い行事が生まれました。その後、女の子が生まれると人形を家に飾り、健やかな成長を願って祝うようになったそうです。



※諸説あります。

祥雲閣では毎年の干支の木目込人形を展示しています。今年の干支は丑年です。牛はおっとりとした印象ですが、古くから農耕作業や物資運搬の労働力として、人間の生活に欠かせない身近な動物です。よく働く姿が「誠実さ」を象徴し、縁起の良い動物として十二支に加えられたと言われています。 ※諸説あります。

今年は牛の他に十二支の人形の展示を行っています。かわいらしい人形が春の訪れを告げてくれます。ぜひご覧下さい。



春の茶室

釣釜（つりがま）

茶室では3月に釣釜が掛けられます。茶室の天井にある釜蛭釘（かまひるくぎ）に鎖や竹を提げて釜を釣ります。

釜は細長い筒釜・棗釜・雲龍釜などが用いられます。お湯が沸き、釜が揺れる様子に暖かな春風や春のまどろみを感じる事ができます。

祥雲閣の

木目込人形

木目込人形は、木製の胴体に筋をつけ、生地を木目込んで（押し込んで）仕立てた人形です。

京都の上賀茂神社に仕えていた職人が柳の木で作った土台に着物の生地を木目込んで作ったのが始まりとされ、賀茂人形、柳人形とも呼ばれているそうです。



※諸説あります。